

ALUMINIUM NEWS

アスカ工業株式会社アルミニウムニュース

第 620 号

2013年2月1日

発行

アスカ工業株式会社

〒444-0303

西尾市中畑町新田上28

特別
寄稿

年頭所感 ストップ産業空洞化へ オンリーワンを目指せ

中部ダイカスト工業協同組合理事長 松尾 精介

新年あけまして、おめでとうございます。2013年の新年をご健勝で迎えられたことを心よりお祝い申し上げます。

さて、我々ダイカストメーカーの経営を取り巻く環境は、依然として大変厳しいものがあります。昨年は東日本大震災の後処理や復興が始まり、タイの大洪水被害の影響も治まり、4月以降の自動車産業等の生産状況は順調に回復するものと期待が高まっていました。

8月頃には、南欧諸国の政府債務危機が進行し、欧州の景気は更に冷え込み中国や新興国の輸出に大きく影響を及ぼしました。

特に世界経済をけん引してきた中国は、最大貿易相手のEUの外需の落込みは輸出をテコに成長してきた中国企業の生産活動にブレーキを掛け、それが内需全体の鈍化につながる構図となり、さらに金融引締めで不動産バブルも弾け中国経済は減速し踊り場に乗り入れた感があります。

加えて、尖閣を巡る緊張で日中貿易が停滞、9月の大規模な反日デモ以降、日本製品不買運動が広がり、日本からの部品輸入が落込み日本への輸出も停止しています。中国市場での逆風は日本にとっても打撃ですが、中国にとっても悪影響が大きいと考えられます。世界第2位、3位の経済大国である日中両国間の緊張緩和が世界経済の再興につながることは誰もが考える統一見解です。

一方世界1位の米国経済は光明が差しつつあります。雇用は回復傾向にあり、住宅市場に明るさが戻り、加えてシェールガス・オイル革命でエネルギーコストが

大幅に低下し景気回復の起爆剤ともなっています。

日本経済にも新政権による「新しい政策」によって復活する期待が高まっています。デフレ脱却を目指しての金融緩和は、円売りを加速させ輸出企業の業績回復。好決算に結びつき実態経済に波及、更なる株高を招くこととなります。そこに公共事業投資が加わり日本経済の勢が増すことは十分に可能性があるのではないのでしょうか。

08年9月のリーマンショック以降日本を襲った超円高により日本の製造業は海外移転を急ぎ「産業の空洞化」が進み、技術と雇用が流出しつつあります。これは「自傷行為」でもあります。ダイカストメーカーは永年に渡り培った「ものづくりの技術」の蓄積があります。世界に誇る自動車産業のパイオニアとしての「先進的な技術革新」があり、これを支えてきた「カイゼン」という生産現場における創意工夫のノウハウもあります。

海外進出の選択を視野に入れながらも、まずはさておいて日本にしか出来ない高品質の附加価値のあるダイカスト製品を作ることが大切ではないでしょうか。

決してナンバー・ワンでなくても、オンリー・ワンのものづくりを実現していくことがストップ産業空洞化に繋がるものだと思っております。何をやるにもまずは自社の足元を固めることが最も重要であり、そしてオンリーワンの技術の指向し、品質と生産性の向上を図り、受注変動に対し敏速に対応できる効率的生産活動を実現する企業だけが存続していただけることを理解して頂きたい。本年も元気で活躍を祈念致します。



第29回 商売繁昌・交通安全 祈願会

1月18日 三ヶ根観音

1月18日（曜日）、アスカ工業株式会社の原料納入事業所代表の80名は三河湾国定公園吉良温泉の吉良観光ホテルに参集して、午後3時より同ホテル会議室に於て天野久会長の「み年を占う」と題する新春放談会を開催した。

引きつづきバスで三ヶ根山頂の三ヶ根観音に参詣、平成25年の商売繁昌と交通安全の祈願会を行った。三ヶ根観音堂守は厳かに護摩を焚き、音吐朗々般若心

経を誦し、参詣者一名一名の住所氏名を高らかに名乗り、七難即滅、七福即生を一心に祈願した。

そして、お札とお供物を拝受して下山した。三ヶ根山頂は雲一つない冬晴れで、眼下に三河湾の絶佳の眺望が広がり、真赤な夕日を浴びて一同平成25年の開運招福はうたがい無しとの自信を深めた。

入浴小憩後、6時30分より大広間に参集の一同は、盛大な新年宴会を催した。岡谷鋼機株式会社東京非鉄金属部長露木慶二氏の乾杯で開宴、夜半の2次会に至るまで時間を忘れて大いに盛り上がった。

盛大な新年宴会を目出度く終了し、一泊してお開きとなった。吉例のアスカ杯新春ゴルフ・コンペは19日午前吉良カントリー・クラブで熱戦が展開され、下記の皆さんが目出たく入賞した。

- 優勝 東明稔太郎氏（東栄商店）
- 準優勝 藤織三男氏（エネロップ）
- 第3位 松本恒二氏（岡谷鋼機）
- B B賞 森田康博氏（松島金属）

写真上・天野久会長の新春放談。 写真下・大宴会場の天野卓社長開宴のあいさつ。



新春放談

インフレーション

アスカ工業株式会社取締役会長 天野 久

年末に発足の安倍内閣のトップ・スローガンが「インフレ率2%」というのに驚いた。インフレーションと言う言葉が今日の日本人によく理解が得られていないと思われる。本日は皆さんと一緒に考えて見よう。

インフレーションとデフレーション

インフレーションは「継続的な物価上昇と貨幣価値の下落」で、デフレーションは「貨幣と信用供給の収縮による継続的な物価下落」とされる。継続的とはIMFの統一見解で約2年をいう。

過去数年の日本は、貨幣と信用供給は潤沢すぎて、とてもデフレーションとは言えない。最近の安倍内閣は「脱デフレ」と連発するが意味するところが分らない。「インフレ率2%」は、物価が2%上り、国民は生活レベルを2%切り下げることになる。

インフレーションの実際

インフレーションは需要と供給のアンバランス、通貨価値の下落、金利の上昇で発生、継続する。ハイパー・インフレーションとなり国家の破産、通貨の無価値化を招く。第1次大戦のドイツは、1914年開戦から、戦後の最困窮時の1923年まで、通貨マルクは1兆分の1に下落した。第2次大戦の日本では、1935年から1950年までの間に物価は200倍になった。

両国とも国民生活は窮乏の極に達し、大混乱に陥った。私は20才代前半にこの大混乱社会を経験したが、当時は思い出さたくない。

今日の日本は、需要に対して供給力が十分あり、通貨不安のない限り金利は安定してインフレーションは起きない。また起こしてはならない。

インフレ・ターゲットはインフレ対策

1990年にニュージーランド、1993年にカナダ、1993年にイギリスで夫々インフレ・ターゲットを設定した。しかし、これらはすべて継続的な物価上昇を一定の枠内に押さえ込もうとする為で、安倍内閣の考えとは正反対である。

「フィッシャーの利子率物価均衡条件」

$$\frac{1 + \text{名目金利(中央銀行による)}}{1 + \text{自然利子率(人口・技術力・資本など)}} = 1 + \text{物価上昇}$$

から考えても、名目金利が限りなく零に近い今日の日本で物価上昇は考えられない。

新内閣は日銀に更なる金融緩和を迫っているが、反

対に金利を上げると物価上昇力が起こる可能性がある。

リカード・バローの等価定理

ケインジアン発想による財政による景気刺激策は人々の予想に中和されて無効になる。

現在を生きている人々は自分のことだけを考えて行動しているわけではない。必ず自分の子供達のことまで考えて行動しているはずだろう。

財政による景気刺激というものは、どんなに長い償還期限の国債を財源とするものであっても、必ず現在の人々の行動に影響を及ぼしてしまう。

以上の思想は、豊かな社会志向の政策から小さな政府を目指す運動となり、サッチャー(英)、レーガン(米)で実践された成果が評価されている。過去10年の自民党政策のムダは、この定理の立派な証明だ。

若者の言葉にどう向き合うか？

「ハイパー・インフレが預金価値を大幅に減値させるにしても、それは多額の預金を持っている大人の心配。」「経済が混乱して給料が下がるのは、年功序列で高賃金を享受している大人。」

「今の借金は大人の作ったもの。大人の付けを若者が返す義務はない。」

「ハイパー・インフレで解決できるならそれで片付けてほしい。早く世の中がリセットされた方が良い。」

Xデーの悪夢

世界中のヘッジ・ファンド連合が、突如日本国債の先物に一斉売りを仕掛けたとき、どうする。

日本金融連合は、買い向かうか？狼狽同調売るか？このようなXデーの悪夢の記事が最近の経済誌に現れる。事実、11月末に0.7%の10年国債の利回りが、年明けに0.82%に急上昇してギクリとさせられた。

アベノミックスは、余りのお粗末さに日本金融界から見限られてソッポを向かわれているようにも見えるし、海外でも評判が悪い。中央銀行の独立性を否定するような思想は、社会常識上無理がある。

一方、物価は人為的に上げ下げ出来ないもの。上げ下げの要因は需給、為替、金利、気象条件から世相に至るあらゆる力が働いて流動する。昔の人はこれらの要因をまとめて「人情」と言った。言い得て妙。

愚策の連発で自民党が自滅すると、次回は受け皿がなく、ヒットラーの出現を心配する。



盛り上りを見せました。

◎西尾市長榊原康正氏の热烈的歓迎の挨拶のあと、3氏は「人生劇場」を熱唱して大喝采を浴び、大新年宴会に一層の華をそえました。

◎写真は舞台上で熱唱する3氏。右から

天野卓社長

榊原康正西尾市長

天野久会長

稲垣昌利愛知県議会議員

都築勝久西尾商工会議所会頭

◎「人生劇場」は西尾市吉良町出身の小説家尾崎士郎（1898～1964）の代表作から作詞・作曲され、古賀メロディーの定番として当地で愛唱されています。

社内情報

◎第29回商売繁昌・交通安全祈願会は大そう盛大に挙行することが出来ました。年頭ご多用のところ大勢様のご参会をいただき厚くお礼を申し上げます。

◎大新年宴会の最中、西尾市長榊原康正氏、愛知県議会議員稲垣昌利氏、西尾商工会議所会頭都築勝久氏の3氏が歓迎の挨拶のため合流され、宴会はさらに

編集後記

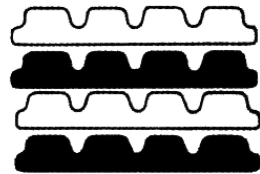
■中部ダイカスト工業協同組合松尾精介理事長様には年頭で格別にご多用のところ、昨年に引きつづき特別寄稿のご執筆をいただきました。心から厚くお礼を申し上げます。

■業界多端の折柄、一段のご活躍をいただきますよう期待いたします。

アルミ缶リサイクリング 铸造用アルミニウム合金地金



アルミニウムそのものでは強さ、加工性などの点で不十分で、銅、シリコン、マグネシウム、亜鉛、鉄、マンガン、ニッケル等用途に応じて添加合金しますと、非常に優れた強さ、鋳造し易さ、加工し易さ、耐熱性などが得られます。添加金属は非常に微量の場合もあり、そのため厳重な品質管理が要求されます。当社では発光分光分析装置を使用して、迅速・正確な品質管理の下で非常に優れたアルミニウム合金を作り、日本の産業の発展に寄与しています。



ISO 9001 審査登録

アスカ工業株式会社

〒444-0303

愛知県西尾市中畑町新田上28

TEL <0563> 77-0500(代)

FAX <0563> 77-0501

<http://www.al-asuka.jp/>